



おおた ゆうすけ
太田裕介

議員



**未利用地の有効活用
に関して**

問 高齢者や子どもの居場所確保や、まちなかの歩行者量増加に資するためにベンチ設置を積極的に進めていけないか。

答 歩行空間の効果的な活用策の一つとなることから、維持管理などの課題もあるが、道路事業を進める中で検討していきたい。

問 コロナ禍で人流の変化が生じる中、遊休化した工場や事業所、駐車場などへの対策を積極的に講じるべきでは。

答 地域経済の活性化やまちの魅力向上に向けて、不動産業者や建設業者、金融機関などと連携を図り、さまざまな市の制度の周知を行っている。併せて、遊休地情報の発信などに努め、空き工場や空き店舗などの新たな利用者とマッチングの支援に取り組んでいきたい。



田端東遊水池公園内のベンチ

ふるさと納税のさらなる活性化に向けて

問 寄付者の賛同を得やすくするため、寄付の使途を明確化できないか。

答 寄付の使途を明確化することは、寄付者の賛同を得る方策の一つであることから、先進事例を参考にしつつ、実現可能なところから、制度の充実に取り組んでいきたい。



おおば まさあき
大場正昭

議員



可燃ごみ削減プロジェクトの推進を

問 生ごみ処理機導入に対する補助金の復活はどうか。

答 意識啓発の手段としても有効であると考えている。補助制度導入の検証が必要であるので、改めて手法も含め、検討したい。

問 自治会からの要望が多い草木、剪定枝の回収状況は。

答 8月1日の時点で、56自治会から申込みがあり、7月末までに24自治会分、約32トンの草木を回収し、リサイクルしている。貸出数増加や民間事業者への搬入料金の補助などについては、相応の経費が伴うことから、実施については、今後の動向と結果を見ていく中で費用対効果を含め、検討していきたい。

**市道大谷幕ヶ谷線法
面崩落の早期復旧を**

問 当路線の今後の工事の進め方はどうか。

答 現在、県とともに対策工事の追加、工法の変更について検討を進めている。今後、国土交通省との協議を経て、最終的な工事内容が決定次第、速やかに復旧工事を再開していく。



プラスチック製容器包装の出し方



たけむら まゆみ
竹村眞弓

議員



**ひきこもりの課題を
抱える方への支援は**

問 8050問題に該当する世帯数と相談件数は。

答 個人のプライバシーに深く関わることから、本市の対象世帯数を把握することとは困難である。相談件数からの実世帯は、令和3年度は26世帯、令和4年度は37世帯の見込みであり、年々増加傾向にある。

問 潜在的なひきこもりの世帯への支援対策は。

答 ご本人やご家族が相談窓口において、安心して相談できる体制をとっているが、知られたくない、行政の関わりを望まない世帯は孤立し、ひきこもり状態が分かりにくい課題がある。関連部署との連携を強化し、対象となる世帯と継続的なつながりを持ち、寄り添っていく「伴走型支援」に努めていきたい。

**带状疱疹増加に伴い
予防接種の必要性は**

問 带状疱疹予防接種費用の助成制度の検討は。

答 带状疱疹の予防接種は任意接種に該当している。定期接種化に向けて国の厚生科学審査会において、ワクチンの有効性や安全性、費用対効果に関するデータを収集し検討がされているため、今後の国の動向を踏まえていきたい。



主な合併症：带状疱疹後神経痛のイラスト